

# 不登校の生徒ら通う「アイエス学園」

## 新・学び場 希望の1年

不登校やひきこもりを経験した生徒たちが通う奈良市芝辻町4丁目の「アイエス学園」が開校して間もなく1年になる。昨年閉校した別の学校から移った3年生8人が3月2日、同校で初めての卒業式を迎える。



特別授業を受ける生徒たち。棚を挟んだ奥が間もなく卒業する3年生「アイエス学園」

2月上旬、学園2階の教室で特別授業があった。普段は学年を区切っているカーテンが開かれ、2、3年生の生徒13人が奈良市の書家yoshisan(40)の手ほどきを受けた。卒業を控えた3年生は、葉っぱの形をした紙に「あきらめるな!!」「未来はまだ分らない」などと力強く書いた。10年後の自分へ宛てたメッセージだ。

学園代表の今井真路さん(43)は「1年間、生徒の表情を見てきましたが、開校してよかったと思う」と笑顔で語る。

様々な理由で集団生活が苦手な生徒などを受け入れてきた奈良高等学園(奈良市三条宮前町)が昨年3月、財政難などのため閉校した。同校は東京都世田谷区の学校法人科学技術学園(科技高)の連携校として県の認可を受けており、不登校などを経験した生徒でも学び直して卒業資格が得られる学校だった。

当時の1、2年生23人のうち転校しなかった19人が通う場所を失った。神戸市でコンサルティング会社を経営する今井さんは、その話を科技高の関係者から聞いた。「いつかは教育に携わる仕事がしたい」と思っていたこともあり、昨年4月、生徒の受け皿としてアイエス学園を開校した。現在は20人が通っている。

奈良高等学園で働いていた教諭やカ

## 閉校の学校から移り巣立ちへ

ウンセラー、事務員の計8人も新しい学園に移った。給料は3分の2程度に減ったが、森田一雄施設長(52)は「保護者や生徒の声を聞くと、他の学校に転任することはできなかった」と話す。

学園は現在、「フリースクール」として運営されている。生徒はパソコンで科技高の通信制の授業を受け、分からないところを講師から教わる。レポートの提出などで単位を取れば科技高から高校普通科の卒業資格が得られるが、試験は科技高の大阪分室(大阪府吹田市)で受けなければならぬなど不便も多い。

来年度から科技高の連携校として認可してもらうよう、県に申請中だという。実現すれば、試験や卒業証明書の発行が校内でできるようになる。簿記などの専門科目の授業をして、単位を取ることも可能になる。

3年の米田太地さん(18)は「新しい環境に慣れるまでは大変だったが、友人やカウンセラーが前の学校と同じなので、安心して通学できた」と、この1年を振り返る。進路は決まっていないうが、卒業後は就職などを考えているという。

今井さんは「生徒や保護者らの気持ちに心を動かされました。卒業生は希望を持って頑張ってくれ」と話す。来年度以降、新たなコースを新設したり、地域や企業と協力した授業をしたりして、学校を発展させたいと意気込んでいる。

(松永和彦)